

1/1

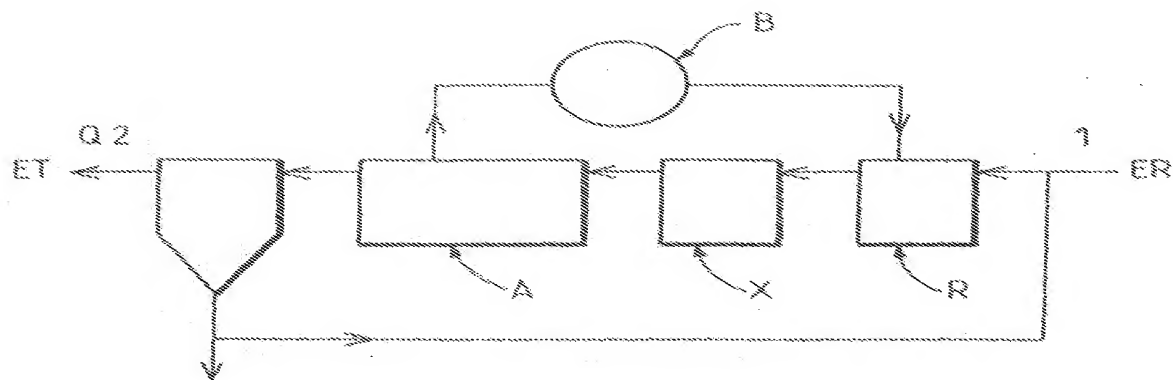


FIG.1

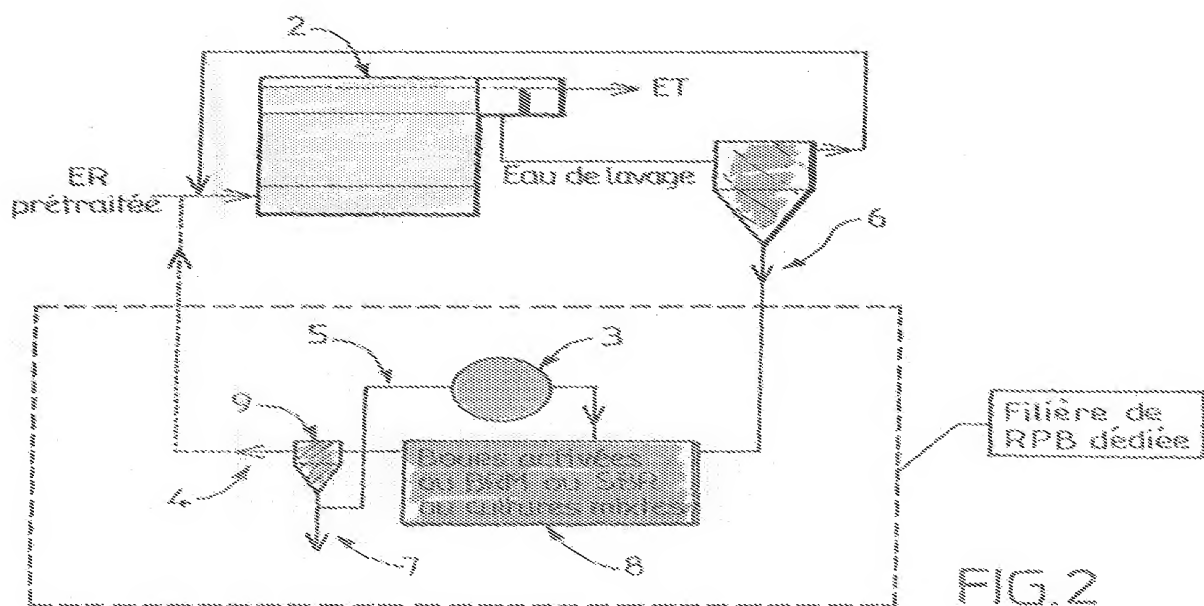


FIG.2

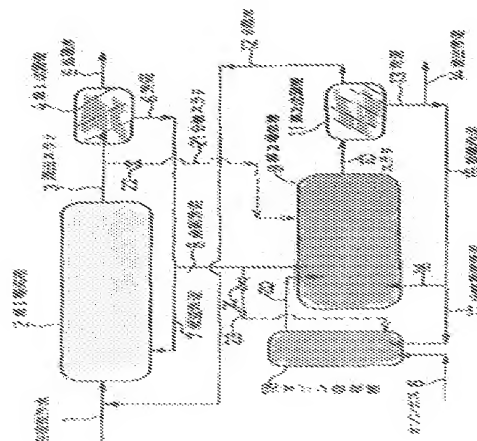
(51) Int. Cl. ⁶		識別記号	序内整理番号	P I	技術表示箇所	
C 0 2 F	11/08	Z A B		C 0 2 F	11/08	Z A B A
B 0 1 J	20/08			B 0 1 J	20/08	A
	20/08				20/08	A
C 0 2 F	1/28	Z A B		C 0 2 F	1/28	Z A B P
	3/12	Z A B			3/12	Z A B B
審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 7 頁)						
(51) 出願番号		特願平5-221497		(71) 出願人		
(52) 出願日		平成 5 年 (1993) 5 月 29 日		000000229 株式会社荏原製作所 東京都大田区羽田旭町11番1号		
				(72) 発明者		
				片岡 克之 神奈川県藤沢市本郷沢4丁目2番1号 株式会社荏原総合研究所内		
				(73) 代理人		
				弁理士 横野 平 (外 3 名)		

(54) 【発明の名称】 有機性汚泥の減量化方法

(57) 【要約】

【課題】 従来の生物学的脱リン法の欠点を解決し、余剰汚泥発生量を著しく少なくでき、安定した高度のリン除去が可能な有機性汚水の処理方法を提供する。

【解決手段】 汚水の活性汚泥処理を行う第1曝気槽に、過剰な酸化鉄微粒子を共存させ、汚水中のリンを該微粒子に吸着させて除去すると同時に有機性汚水を好氣的に処理した後、第1曝気槽からの流出スラリを沈殿分離し、分離水は処理水とし、濃縮汚泥はその大部分は第1曝気槽に返送し、濃縮汚泥の一部を第2曝気槽による曝気処理とオゾン酸化、あるいはオゾン酸化して可溶化した汚泥を曝気処理することを繰り返して汚泥の減量化を行い、少量の汚泥はリンを吸着した酸化鉄微粒子と共に固相に排出し、汚泥の減量化にともなって発生するリン含有水を第1曝気槽に返送する有機性汚水の処理方法。



(10) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-137780

(43) 公開日 平成10年(1998) 5月26日

(51) Int. Cl.⁶C 0 2 F 3/12
11/06

識別記号

Z A B
Z A B

F I

C 0 2 F 3/12
11/06Z A B S
Z A B A

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-236877
(22) 出願日 平成8年(1996)11月11日(71) 出願人 000000228
株式会社荏原製作所
東京都大田区羽田旭町11番1号
(72) 発明者 片岡 克之
神奈川県藤沢市本郷沢4丁目2番1号 株式会社荏原総合研究所内
(74) 代理人 弁護士 森野 平 (外3名)

(54) 【発明の名称】 有機性汚泥の減量化方法

(57) 【要約】

【課題】「余剰汚泥発生量をゼロにでき、かつリン除去率が悪化しない」という、従来の技術では矛盾していた要求を満足できる新しい、有機性汚泥の減量化システムを提供する。

【解決手段】 有機性汚水 1 1 の生物処理工程 1 から発生する余剰汚泥 1 3 を、カルシウムイオン存在下 pH 9 以上で、前記生物処理工程 1 とは別個の曝気工程 4 とオゾン酸化工程 3 との間を循環させるとともに、該曝気工程 4 からの排出汚泥 1 5 を固液分離することを特徴とし、好ましくは前記曝気工程 4 からの排出汚泥の固液分離水を前記生物処理工程 2 に供給すること、あるいは、前記曝気工程 4 からの排出汚泥の固液分離汚泥を前記オゾン酸化工程 3 に供給することを特徴とする。

